

MU評価プログラムクイックガイド

1.インストール・初期設定

当社MU-3 / MU-4の製品ページの評価キットにあるMU評価プログラムのZIPファイルをダウンロードします。



ダウンロードしたZIPファイルを解凍します。

解凍したフォルダ・ファイルを適当な場所(例:デスクトップ、CDドライブ内など)に移動します。

必要に応じて解凍したファイルのMU.exeのショートカットを作成するなどを行います。



MU.exeをダブルクリックして実行します。

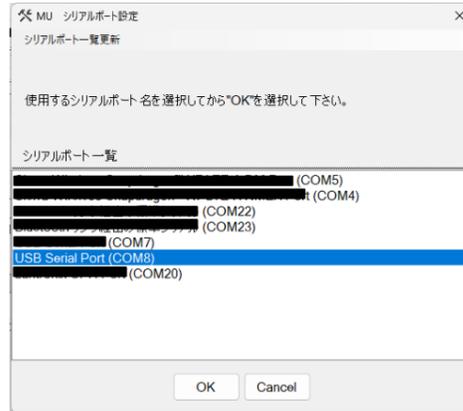
初回実行時は以下のような警告が出ますが、詳細情報から実行をクリックしていただくことでプログラムの起動が可能です。



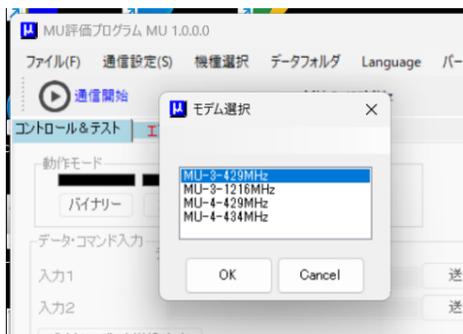
まずはじめにCOMポートを設定します。
通信設定>COMポートで設定画面を開きます



シリアルポート一覧から適当なCOMを選択してOKボタンを押します。



使用する機種を選択します。
機種選択



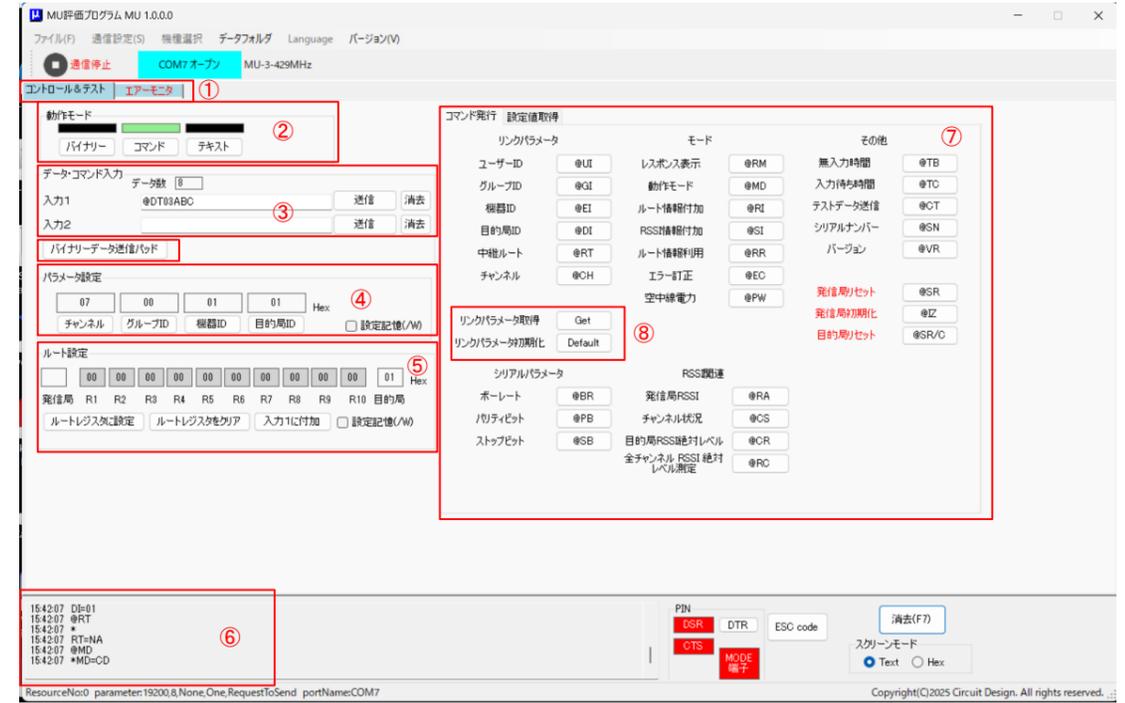
機種を選択しOKボタンをクリックします。

通信開始をクリックすると設定画面がアクティブになります。



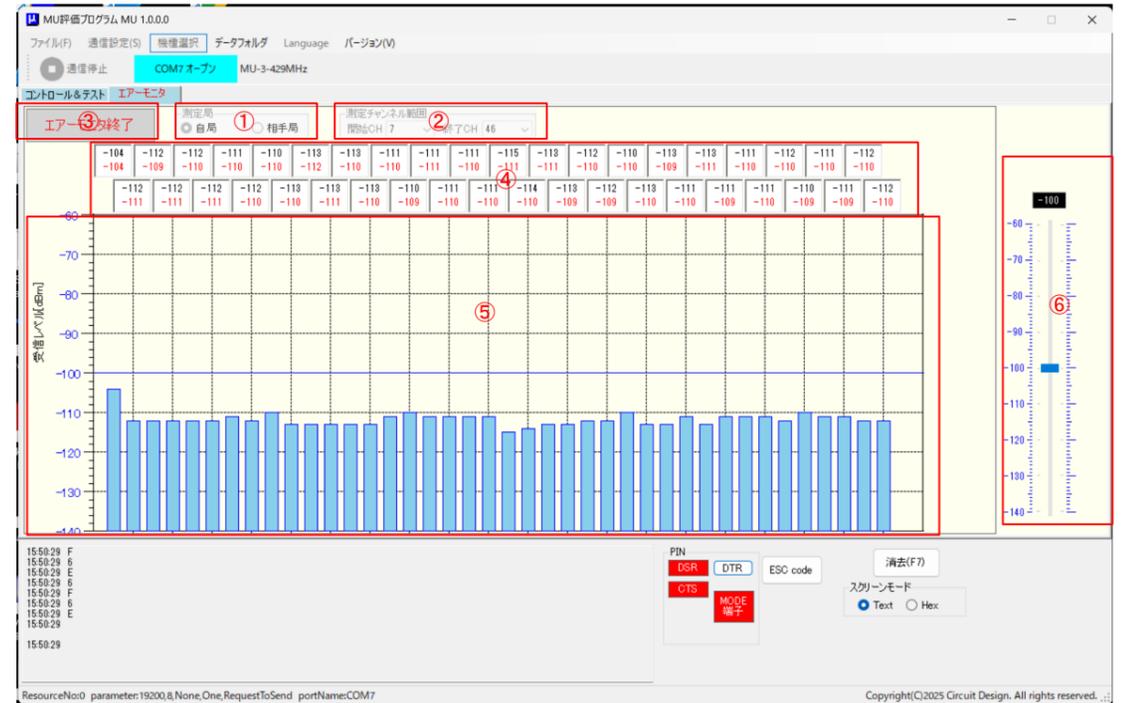
2.操作画面

※ コマンドについての詳細は各製品マニュアルをご覧ください。



- ① コントロール&テストとエアモニタの画面切り替えができます。
- ② コマンド、バイナリ、テキストモードの切替ができます。
- ③ データコマンドを手入力できます。入力1または入力2にコマンドをセットし、送信ボタンを押すと発行します。
- ④ 各種パラメータを設定できます。ボタンを押すと入力パネルが立ち上がり設定できます。③にデータがセットされるので送信を押すと設定ができます。
- ⑤ データ送信時のルートが設定できます。
- ⑥ 無線モデムとPCのコマンドレスポンスが確認できます。
- ⑦ コマンドボタンを押すと入力2にコマンドがセットされます。必要に応じてパラメータを追加入力することにより設定ができます。
- ⑧ リンクパラメータの取得および初期化ができます。

3.エアモニタ



- ①の自局、相手局を指定し、②の周波数CHの範囲を指定して③のエアモニタ開始ボタンを押すと各周波数CHごとの受信信号レベル(RSSI)の確認ができます。④は上が取得時のRSSIレベル、下はエアモニタ中の最大値が表示されます。また⑤のウィンドウではRSSI視覚的に確認する事ができます。
- ⑥のスライダーを変えることにより設定したレベル以上の信号を表示したときにバーの色を変えることができます。